

会 議 録

1. 会議の名称 平成30年度第1回文化財保護審議会
2. 開催日時 平成31年3月29日(金) 13:30~16:00
3. 開催場所 熊取交流センター(煉瓦館) 講義室A、重要文化財中家住宅
4. 議題
案件1 会長・副会長の互選について
案件2 その他
 1. 町指定文化財の指定候補案について
 2. 「国史跡日根荘遺跡」土丸・雨山城跡の保存活用計画について
 3. 重要文化財中家住宅の災害復旧工事について(現地視察)
5. 公開・非公開の別 全部公開
6. 傍聴者数 0人
7. 審議等の概要

案件1 会長・副会長の互選について

委員より一任された事務局が 会長に瀬川健委員を、副会長に腕野亮治委員を推挙し、全会一致により会長・副会長に選出された

案件2 その他

1. 町指定文化財の指定候補案について

〈事務局〉

平成31年度内に町指定を目指すもの

- ・熊取村志関係資料一式(熊取村志原稿、乾板写真など)

平成31年度以降に指定を目指すもの

- ・旧中林綿布工場跡
- ・熊取村道路元標
- ・浄見寺(爽神堂)関係文書

〈委員からの意見・質問〉

- 「紺屋集落から中家住宅へ長屋門と生垣が続く街路」を国登録文化財に指定するべき。
 - 泉州地域で国登録文化財がないのは、熊取町、田尻町、岬町、忠岡町で、登録文化財の登録を進めてもらいたい。
 - 「熊取村志関係資料」の「乾板写真」は、劣化防止の処理とデジタル化をする必要がある。
 - 印刷された村志が残されているのは熊取町だけで、大変貴重な資料である。
 - 指定に関する事業計画を作成すること、及び前年度の文化財行政の報告を行うこと。
 - 「旧中林綿布工場跡」を史跡に指定する際は、かつて存在した周辺の関連施設を含めるべきであり、そのために全体の模型製作を検討し、模型の製作には町民にも協力してもらうなどの方策を検討すべき。
 - 「旧中林綿布工場跡」は、町指定できる可能性が高い。指定の背景となるストーリーも考慮し委員会形式にすることなどを検討する。
 - 「浄見寺(爽神堂)関係文書」は、精神医療の歴史の中で大変貴重である。
 - 「熊取村道路元標」は速やかな指定が可能と思われる。
2. 「国史跡日根荘遺跡」土丸・雨山城跡の保存活用計画について
「史跡 日根荘遺跡保存活用計画書」(写)を配布して概要説明
 3. 重要文化財中家住宅の災害復旧工事について(現地視察)
重要文化財中家住宅で公益財団法人文化財建造物保存技術協会の樋口崇氏が説明